

「意思あるお金」で、地域の夢を未来へつなぐ 1

VOL.9

地域の挑戦を、その先へ。2026年も続く九州の夢

～クラウドファンディングが動かした、その後のストーリーをご紹介～

株式会社グローカル・クラウドファンディング

►今月は、クラウドファンディングをきっかけに始まった地域の挑戦が、その後どのような成果を生み出しているのかに注目します。熊本・八代の名勝庭園・松浜軒の長堀修復、鹿児島・南大隅町で進む南国フルーツのブランドづくり。挑戦の先に広がる「これから」を、九州発の2つのプロジェクトからお届けします。

文化財修復

熊本県八代市 | 国指定名勝「松浜軒」の長堀修復プロジェクト

～地域の誇りを未来へつなぐ、長堀修復の歩み～

寄附型 | プロジェクトオーナー：松浜軒長堀整備事業実行委員会

調達金額：約3,750万円 実施期間：2023年6月2日～2023年11月30日



八代城主・松井直之が1688年に建てた御茶屋「松浜軒（しょうひんけん）」。その象徴のひとつである長堀は、庭園と外界を隔てる役割を果たし、景観を形づくってきた大切な存在です。しかし、老朽化が進み、倒壊の危険が高まっていました。地域にとって見過ごせない課題となる中、国指定文化財の修復には専門技術と多額の費用が必要でした。

「この風景を未来へ」 その想いからクラウドファンディングによる支援を募ったところ全国から約700名の温かな応援が集まり、目標1,500万円に対し249%の3,748万5,000円の支援に繋がりました。

支援の力でよみがえった松浜軒

クラウドファンディングを経て進められた修復工事は、この冬、ついに完成を迎えました。12月3日には竣工を記念した内覧会と祝賀会が開かれ、多くの支援者の方々が新しい長堀を見守るよう訪れました。

今回の修復は、単なる「建物の補修」ではなく、松浜軒が持つ物語や景観を未来へつなぐ取り組みでした。その一歩がこうして形になったことは、地域にとって大きな希望となりました。

修復前の長堀



ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページより
アクセスをお願いします。

◀修復後の長堀

このたび松浜軒の長堀修復工事が無事完了し、往時の趣きを取り戻す
心より御礼申し上げます。ここまで支えてくださった皆さまの温かなご支援に、
たまに見付かるのは、まさに皆さまのお力添えの賜物です。受け継いだ
に守り育ててまいります。

(入力は数分で終わります)

「松浜軒」観覧案内

修復された長堀は、今後も観覧いただけるよう、定期的に開催される
内覧会や祝賀会でのお見学が可能になります。

会員の方はこちらから